

建築文化賞

景観上優れた建築物

景観・防災・技術教育などの地域貢献

建築主：東光電気工事株式会社

設計：鹿島建設株式会社一級建築士事務所

施工：鹿島・大林共同企業体

所在地：市川市新田4丁目18-16

東光電気工事株式会社市川センター



街をやさしく照らすライティングデザインと開かれた中庭

市川駅東側から南に続くメイン道路の商店街と住宅街が混在する一角に建つ、社員寮と研修施設である。

敷地南側に地上10階建ての社員寮棟、中庭を挟み北側に2階建ての研修棟が配置されている。中庭を広く前面道路に面し確保することにより街に開かれた配置形状となっているため建物の圧迫感はない。沿道に開放された中庭は施設各部から見通せる憩いの空間となっており、各々個性のある木々の緑が季節毎に葉の色を変え、花を咲かせ、沿道を行く人々の安らぎとなり、来訪者を優しく受けとめる。研修棟の中庭開口面は全面開口となっており植栽した木々が成長と共に空間に広がり利用する人々に安らぎを与えるだろう。施設利用者の憩いの場である中庭は市民に開放されており歩行者が自由に立ち寄ることができる。また緊急車両停止場、消防水利や雨水貯水槽などの地域防災機能も備え地域貢献を念頭に建設されたことは街に安心と安らぎを与え、これからの市街地に建つ建物の指針になる。前面道路は両側の歩道を含み9.50mの広い道路であり

多くの市民が往来する。駅や商店街から少し離れた周辺は、街の灯りが少なくなり、近くにある幼稚園、小学校の生徒や女性は夜間暗くなり不安感を持つ。社員寮棟の中庭に面する外廊下照明は、外部手摺の腰壁を乳白色のガラスとすることで光を軟らかく拡散させ建物全体を行灯化した。建物の存在が行灯となることで地域住民の安全・安心につながっている。

道路に面する花壇もセットバックして造られており、建物の配置と共に圧迫感が無く、余裕を感じさせ街の景観に配慮している。（青柳英俊）



中庭より研修棟を見る



アプローチ

（撮影/木田勝久）